



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月8日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦 TEL 06-6266-3102

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,483	1.9	1,091	9.2	1,382	1.4	1,162	27.7
2024年3月期第1四半期	17,814	4.2	1,201	71.0	1,362	47.8	910	53.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,114百万円 (44.5%) 2024年3月期第1四半期 2,008百万円 (138.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	40.85	40.62
2024年3月期第1四半期	32.02	31.83

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	101,009	62,607	59.0	2,092.83
2024年3月期	101,618	62,490	58.6	2,092.10

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 59,570百万円 2024年3月期 59,550百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		35.00	35.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	1.0	1,900	30.0	2,050	30.8	1,800	8.0	63.24
通期	74,000	2.9	4,250	13.3	4,500	15.7	3,800	17.4	133.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 社 (社名)

除外 2 社 (社名)

ジャパンパウダー塗料製造株式会社、迪恩特塗料(上海)有限公司

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	29,710,678 株	2024年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	1,246,453 株	2024年3月期	1,246,411 株
期中平均株式数(四半期累計)	28,464,245 株	2024年3月期1Q	28,437,539 株

2025年3月期1Q

29,710,678 株

2024年3月期

29,710,678 株

2025年3月期1Q

1,246,453 株

2024年3月期

1,246,411 株

2025年3月期1Q

28,464,245 株

2024年3月期1Q

28,437,539 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績やインバウンド需要の拡大等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源価格の高騰、円安の長期化による物価上昇の影響を受けており、今後の景気の先行きは依然不透明な状況が続くと見込まれます。

当社グループにおきましては、一部製品に係る不適切行為を受けて、再発防止策の推進およびコンプライアンス遵守の徹底により、信頼回復に向けて取り組んでまいりました。経営成績については、国内塗料事業においては不適切行為問題からの回復途上であることから需要が低調に推移し、売上高は174億8千3百万円（前年同期比1.9%減）となりました。営業利益は、価格は正や中国事業の赤字圧縮に努めたものの減収により、10億9千1百万円（同1億1千万円減）となりました。経常利益は為替差益の計上により、13億8千2百万円（同1千9百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億6千2百万円（同2億5千2百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### [国内塗料事業]

一般用分野は、市況の回復を受け一部汎用製品の販売量は増加したものの、全体としては不適切行為問題からの回復途上にあることから、売上高は前年同期を下回りました。工業用分野は、一部市況の回復や粉体塗料では新規獲得が進展したものの建材用塗料の需要停滞が継続し、売上高は前年同期を僅かに上回るに留まりました。

この結果、売上高は124億4百万円（前年同期比2.3%減）となりました。営業利益は価格は正に努めたものの人件費等のコスト増加により、4億3千6百万円（同1億5千万円減）となりました。

#### [海外塗料事業]

東南アジアは、自動車生産台数の減少や建材用塗料の需要減少により、売上高は前年同期を下回りました。メキシコは、自動車生産台数の増加及び新規取引の獲得により、売上高は前年同期を上回りました。中国は、日系自動車メーカーの低迷影響が継続し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は19億6千5百万円（前年同期比7.6%減）となりました。営業利益は中国事業の赤字圧縮に努めたものの減収により、7千5百万円（同2千9百万円減）となりました。

#### [照明機器事業]

業務用LED照明分野は、好調なインバウンド需要や都市部再開を背景に商業施設や宿泊施設向けを中心に需要が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。UVランプ分野は紫外線殺菌用途の需要は堅調なものの、一部製品の需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。蛍光ランプ分野は市場縮小に伴い需要が減少しているものの販売価格の改善に努め、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は23億6千6百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は4億6千7百万円（同4千4百万円増）となりました。

#### [蛍光色材事業]

顔料分野は、EU地域向けの需要回復が継続し、売上高は前年同期を上回りました。加工品分野では、安全対策用途需要は増加したもののテープ製品の需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は2億9千2百万円（前年同期比4.3%増）となりました。営業利益はコスト抑制に努めたこともあり、1千3百万円（同6百万円増）となりました。

#### [その他事業]

物流事業は、物流業界における各種コストの上昇に対して単価改善に努め、売上高は前年同期を上回りました。塗装工事業は、工事受注が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は4億5千4百万円（前年同期比0.7%増）となりました。営業利益は工事原価の高騰により、1千6百万円（同2百万円減）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,010億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億8百万円の減少となりました。流動資産は401億3千6百万円で前連結会計年度末と比較して6千2百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の増加4億4千8百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少3億7千5百万円、電子記録債権の減少6億8千7百万円、棚卸資産の増加4億1千9百万円、その他の増加1億3千3百万円等が主因であります。固定資産は608億7千3百万円で前連結会計年度末と比較して5億4千6百万円の減少となりましたが、これは投資その他の資産の減少4億4千6百万円等が主因であります。

負債は384億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億2千5百万円の減少となりました。流動負債は280億9千5百万円で前連結会計年度末と比較して5億9千7百万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少3億2千1百万円、短期借入金の増加8億円、未払法人税等の減少7億円、その他の減少2億8千4百万円等が主因であります。固定負債は103億6百万円で前連結会計年度末と比較して1億2千8百万円の減少となりました。

純資産は626億7百万円で前連結会計年度末と比較して1億1千6百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加1億6千6百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億円、為替換算調整勘定の増加3億7千4百万円、退職給付に係る調整累計額の減少2億1千9百万円等が主因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,429	8,877
受取手形、売掛金及び契約資産	12,137	11,762
電子記録債権	6,701	6,014
商品及び製品	6,262	6,314
仕掛品	991	1,027
原材料及び貯蔵品	4,038	4,370
その他	1,649	1,783
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	40,198	40,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,509	23,441
減価償却累計額	△15,686	△15,685
建物及び構築物(純額)	7,823	7,755
機械装置及び運搬具	24,302	24,225
減価償却累計額	△20,668	△20,702
機械装置及び運搬具(純額)	3,633	3,523
土地	11,100	11,116
リース資産	1,592	1,580
減価償却累計額	△1,183	△1,226
リース資産(純額)	408	354
建設仮勘定	1,766	1,906
その他	7,612	7,730
減価償却累計額	△6,022	△6,149
その他(純額)	1,589	1,580
有形固定資産合計	26,321	26,236
無形固定資産		
リース資産	32	24
その他	865	858
無形固定資産合計	898	882
投資その他の資産		
投資有価証券	10,216	9,707
繰延税金資産	1,549	1,412
退職給付に係る資産	21,798	22,031
その他	659	625
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	34,200	33,753
固定資産合計	61,419	60,873
資産合計	101,618	101,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,651	16,329
短期借入金	5,100	5,900
リース債務	452	433
未払法人税等	959	259
役員賞与引当金	58	—
製品補償引当金	164	150
その他	5,306	5,022
流動負債合計	28,693	28,095
固定負債		
リース債務	544	494
繰延税金負債	7,652	7,558
再評価に係る繰延税金負債	1,189	1,189
退職給付に係る負債	982	1,001
その他	66	62
固定負債合計	10,434	10,306
負債合計	39,128	38,402
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	36,191	36,357
自己株式	△1,431	△1,431
株主資本合計	46,026	46,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,279	4,978
土地再評価差額金	1,717	1,717
為替換算調整勘定	1,346	1,720
退職給付に係る調整累計額	5,179	4,960
その他の包括利益累計額合計	13,523	13,377
新株予約権	155	155
非支配株主持分	2,784	2,880
純資産合計	62,490	62,607
負債純資産合計	101,618	101,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	17,814	17,483
売上原価	12,342	12,082
売上総利益	5,471	5,400
販売費及び一般管理費	4,269	4,309
営業利益	1,201	1,091
営業外収益		
受取利息	7	25
受取配当金	124	134
為替差益	28	121
その他	50	64
営業外収益合計	210	346
営業外費用		
支払利息	22	25
その他	26	30
営業外費用合計	48	55
経常利益	1,362	1,382
特別利益		
投資有価証券売却益	173	16
子会社株式売却益	—	271
その他	—	1
特別利益合計	173	289
特別損失		
固定資産処分損	4	10
特別損失合計	4	10
税金等調整前四半期純利益	1,531	1,661
法人税、住民税及び事業税	174	173
法人税等調整額	407	276
法人税等合計	582	449
四半期純利益	949	1,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	910	1,162

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	949	1,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	988	△300
為替換算調整勘定	287	424
退職給付に係る調整額	△216	△219
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,059	△96
四半期包括利益	2,008	1,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,888	1,017
非支配株主に係る四半期包括利益	120	97

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるジャパンパウダー塗料製造株式会社は、2024年4月1日付で当社を存続会社、ジャパンパウダー塗料製造株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っており、消滅会社のジャパンパウダー塗料製造株式会社を連結の範囲から除外しております。

また、連結子会社である迪恩特塗料(上海)有限公司は、当第1四半期連結会計期間において、保有株式をすべて売却したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,701	2,127	2,253	280	17,363	451	17,814	—	17,814
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	280	—	16	24	321	574	895	△895	—
計	12,982	2,127	2,269	304	17,684	1,025	18,710	△895	17,814
セグメント利益	586	105	423	7	1,124	18	1,142	58	1,201

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額58百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,404	1,965	2,366	292	17,029	454	17,483	—	17,483
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	375	3	0	22	401	581	983	△983	—
計	12,780	1,969	2,366	314	17,430	1,035	18,466	△983	17,483
セグメント利益	436	75	467	13	994	16	1,010	80	1,091

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額80百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	589百万円	598百万円

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことについて決議し、2024年7月19日に下記のとおり払込手続きが完了いたしました。

#### 1. 処分の概要

(1) 払込期日	2024年7月19日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 12,740株
(3) 処分価額	1株につき 1,341円
(4) 処分総額	17,084,340円
(5) 処分予定先	当社の取締役 6名 10,446株 (社外取締役を除く) 当社の執行役員 4名 2,294株 (取締役兼務者を除く)
(6) その他	本自己株処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

#### 2. 処分の目的及び理由

譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行う目的及び理由は、当社の取締役（社外取締役を除く。）及び当社の執行役員（取締役兼務者を除く。）に、当社の中長期的な業績と企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様とより一層共有し、株価上昇への貢献意欲を従来以上に高めるため、当社の取締役（社外取締役を除く。）及び当社の執行役員（取締役兼務者を除く。）に対し、譲渡制限付株式を割り当てる報酬制度として導入するものであります。